

## 加工食品の物価及び生産・販売動向

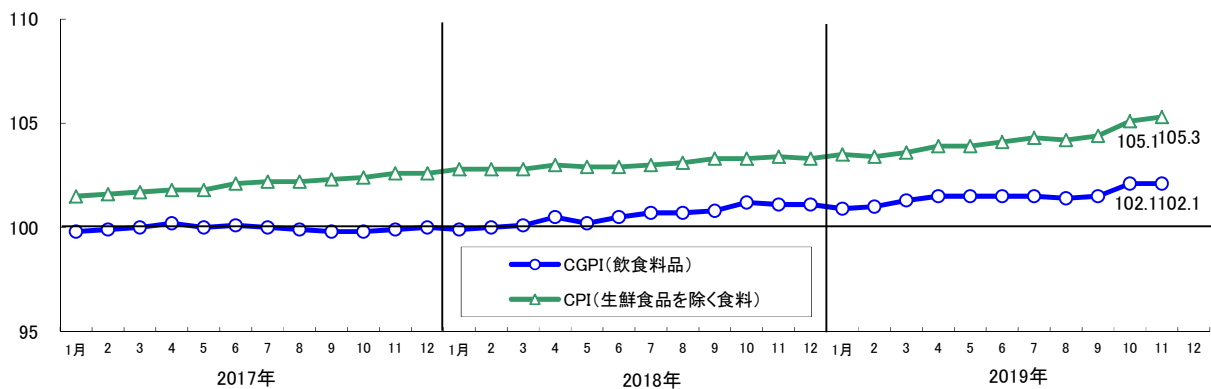
## 1 加工食品の企業物価及び消費者物価

## 企業物価および消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移していたものの、2018年5月以降は上昇傾向にある。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同105.3で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2015年=100



資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

## 2 食品製造業の生産動向

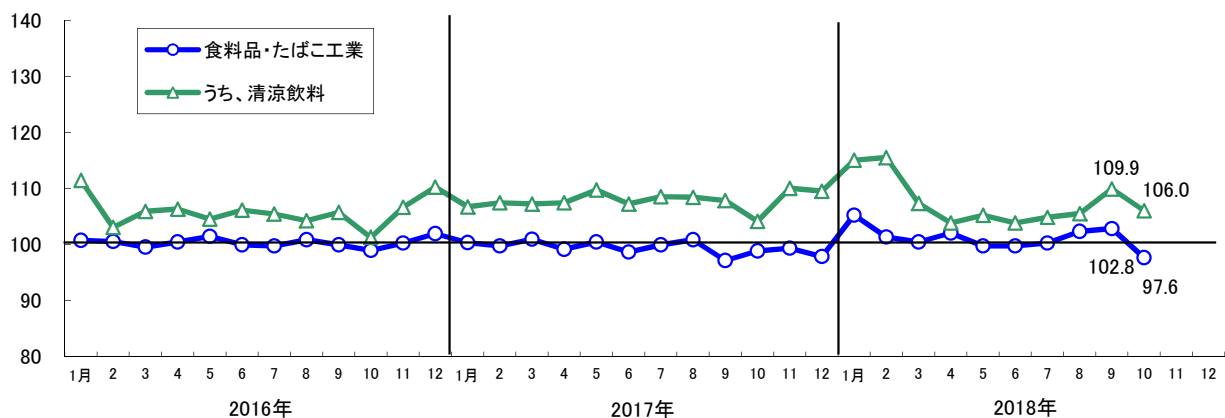
## 食料品・たばこは前月比やや低下、清涼飲料については同やや低下

2019年10月の食料品・たばこ工業の生産指数は、97.6で前月比▲5.1%とやや低下した。

うち、清涼飲料は106.0で前月比▲3.5%とやや低下した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移

2015年=100 季節調整済



資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

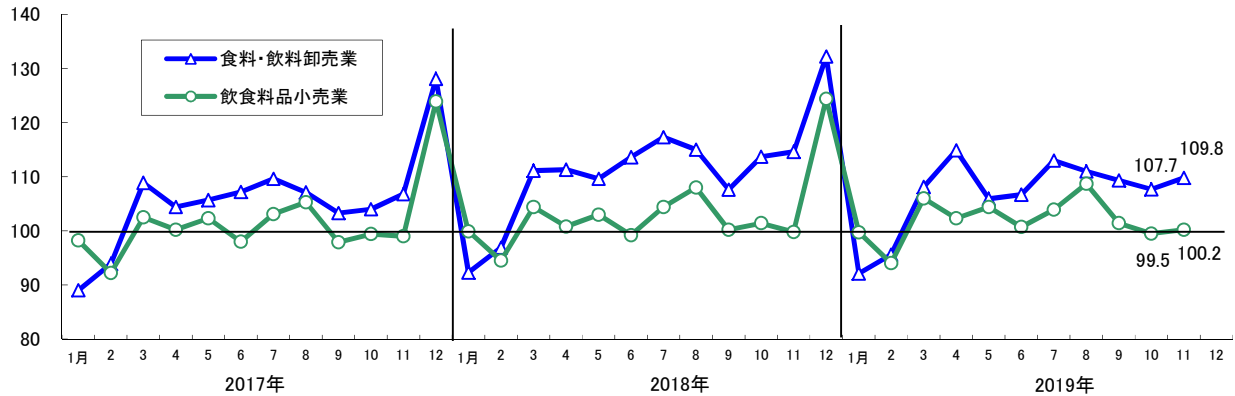
### 3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや低下、小売業販売額は同横ばい

2019年11月の食料・飲料卸売業の販売額指数は109.8で対前年同月比▲4.2%とやや低下した。飲食料品小売業の販売額指数は100.2で同0.4%と横ばいとなった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

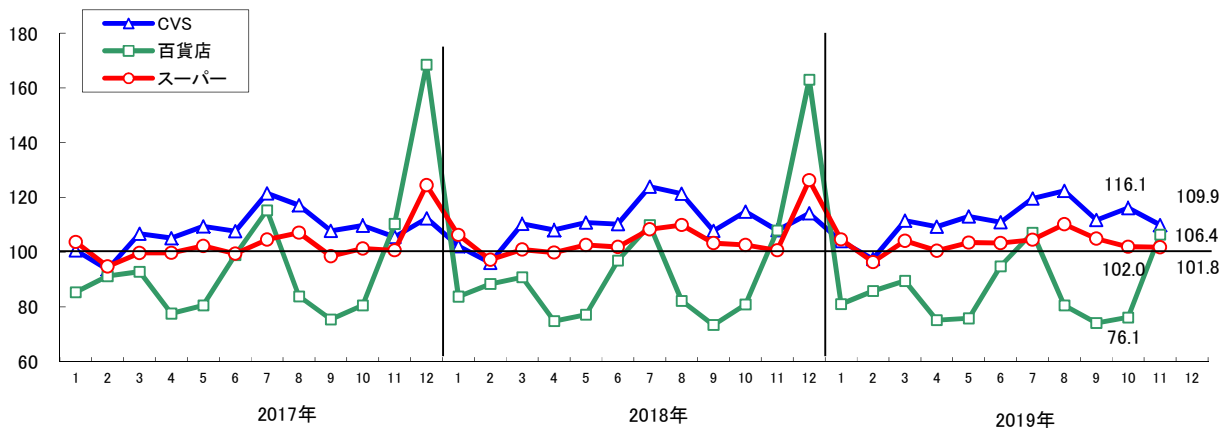
### 4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVS及びスーパーは対前年同月比でわずかに上昇、百貨店は同わずかに低下

2019年11月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは109.9で対前年同月比1.8%とわずかに上昇、スーパーは101.8で同1.2%とわずかに上昇、百貨店は106.4で▲1.4%とわずかに低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。